板スポ新聞

板倉スポーツ少年団 野球クラブ発行

32回読売旗優勝 今期初

粘りで混戦の大会を制す

6月11～12日グ)において、板倉スポーツ少年団野球クラブが混に行われた第32回読売旗争奪幼戦を制し優勝した。板倉年野球大会（高の優勝は今期初。田ジュニアリー　初戦のランニングジュニア戦では序盤から失点し敗色濃厚となった最終の5回に一挙6点を上げ同点とすると、抽選を6対3で勝ち上がった。

　これで勢いに乗ったか、次戦の妙高ジュニアに9対1、さらに翌日の準決勝で優勝候補の三郷タイフーンに6対4で勝利し、清里ジュニアとの決勝でも序盤先制されるも動じず、4回表に3点を上げ逆転。清里の追撃も封じ5対3で勝利した。

　決勝で戦った板倉と清里は7月9に県代表を決める読売旗上越支部大会に出場する

帽子を投げて歓喜する板スポメンバー

颯爽と優勝旗を手に行進

新チーム初Vに歓喜の声上がる

　今期四大会目にしての嬉しい初優勝にチームは湧いた。

　古海コーチは「新聞に『板倉今期初優勝』とあったのを見て、本物と認めてもらったと思った」と語り、鴨井監督も「周りから『1年だけではダメ』と言われていたのでプレッシャーはあった。ほっとした。」とこのチームでの優勝の重さを感じていた。

今年もボールボーイの大役

高田公園野球場アルビBC公式戦

　今回もアルビBC公式戦のボールボーイを務め、間近で見る迫力あるプレーに興奮していた。

一振不乱

　佐渡高校を監督として甲子園に導いた深井先生（現高田商野球部長）と縁あって当時選手全員に配布した「選手心得」をいただいた▼選手として人としてを教える67か条からなる文が並ぶ中にこんな一節がある▼「試合は最後まで捨てるな。捨てないところに勝利もある。」▼今大会の初戦、6点のビハインドを追いつき、結果勝ち上がる。まさに野球の妙味に尽きる思いがした▼選手としての心得の最後は次の一説で締めくくられている▼「人生のスコアボードに点数を刻み、人生の勝利者になれ。」▼人生にリリーフや代打はいない。子供達の成長を願うばかりである。

野球やろう!!!
団員募集中

http://itasupo.ken-shin.net/